

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人ゆうゆう kaede (放課後等デイサービス)

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 23人

回収数 12人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	0	息子の今の通っている曜日での利用者の人数ではスペースは十分ですが、一人、二人増えると小学部より身体の大きな利用者なので過ごししのスペースが苦しくなっていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	0	0	少しスタッフさんの動きが大変で心配です。	必要な人員配置について、保護者面談等で丁寧に説明を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	保護者や子供の声や様子をしっかり受け止めてくださるので、とても嬉しく感じています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	職員の異動があってもしっかりと引き継ぎをしてくださるのと、また新しい職員の方も子供と関わりの中で生活しやすい時間を作っていたいただいています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	8	2	0	本人は人が嫌いな訳ではないので、参加を積極的にしたい気持ちはありますが、言葉に過敏すぎて自傷をしたりするので難しい時が多く悩みの一つでもあります。実際そういったイベントがありますが、参加できていないので回答できません。	1人のニーズを細かく把握しながら、子供達の経験や成長につながるようなイベント内容を検討し、イベント立案、周知を行っています。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	0	以前から支援は温かくありますが、母が色々とおる中でも親身になってくださり助けて頂いています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0	手厚いくらいして頂けています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0	送迎の時にいつもして頂いています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	1	0	姉がきょうだい会に出席させていただきました。今まで知りえなかった情報や妹のkaedeさんでの様子を詳しく聞けて参加してよかった。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？	9	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	3	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	3	0	通う曜日に訓練をする機会がない（参加）ことが多いです。	開催時期、内容を検討し、より多くの方が非常災害時に必要となる訓練を行えるように計画的に実施していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	3	0	0	言いづらいことであっても隠さずに伝えて下さるので信頼がもてます。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人ゆうゆう kaede (児童発達支援)

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 0人

回収数 0人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「放課後等デイサービス計画」（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
社会福祉法人ゆうゆう kaede（放課後等デイサービス）		2025年 3月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	掲示物などは必要なものに限り使用し、利用児への配慮（こだわり、過敏など）への配慮が行われている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	活動内容に合わせて個室を活用している。また、可動式パーテーションを活用し、空間の使い分けを行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		支援内容におけるモニタリング内容や計画の意図について詳細がわからない
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	法人内監査を実施し、指摘事項については、業務改善を図っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		虐待防止研修以外の研修の有無がわからない
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	共通の記録媒体を使用し、担当職員は支援目標を毎回確認しながら、日々の行動観察、アセスメントを行っている。	フォーマルアセスメントの実施がない
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	ケアコラボ等で、これまでの支援記録を確認することができるようになっている。	mtgが実施されていないときがある。サービスの関係で、支援体制の確認にとどめる日がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		記録は記載しているが、検証、改善までできているかわからない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		毎回参加することはできていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		ゆうゆう通信（年4回発行）
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		1階ダイニングの開放等を実施している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	年2回、地域住民の方にも周知し、避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		BCP計画内容を把握できていない（事業所に掲示がない）
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	フェイスシート上で確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		フェイスシート上で確認を行っているが、医師の指示の基づいているかはわからない 保護者への確認にとどまっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	申し送りの中で、共有を行っている。必要に応じて、ケアコラボ上に記録している。	ヒヤリハットの内容やその対応についてわからない 勤務頻度が低い職員まで広く周知されていない
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年2回の虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	対象児童に策定されている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人ゆうゆう kaede			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 21日		～	2025年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供達一人ひとりのニーズや課題について、チームで考え、具体的な支援につなげることができる。	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を反映した支援計画をもとに、支援内容に沿って、適切な支援を行うことができている。	支援内容におけるモニタリング内容や計画について、詳細を共有することで、さらに良い支援につながる。
2	不登校児支援や学校を卒業、進学する子ども達の新たなニーズや課題に対して、丁寧なヒヤリングを行い、支援内容を作成し、適切な支援に努めている。	・通信制の学校や不登校児に対して、個別の時間を設け、マンツーマンでの個別支援を行うなど、子供の状況に応じて、支援を行っている。法人内の他事業部と共同で勉強会を開催し、支援に携わる職員（準職員含め）に参加し、知識の向上を図っている。	・法人内外部での定期的な慣習会または勉強会への参加。
3	定期的な研修会の実施。虐待防止研修や階層別研修、全国の実践者による研修（当事者とリアルなど）への参加。	・支援を行う上で基本的な考え方について、繰り返し研修を実施し、フィードバックを行いながら、学ぶ機会を作り、職員一人ひとりの支援に対する知識の向上や安心感をもって支援を行える環境づくりを心がけている。	・法人研修の計画的参加

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職や幅広い人材の雇用。	・様々なニーズや課題をもつ子供たちに対して、各専門職（社会福祉士、保育士、作業療法士など）を配置し、さまざまな視点から利用者ニーズを把握し、支援を行っていく必要がある。	・より専門的な支援につながるよう一人ひとりのニーズを細かく把握し、チームで連携して支援を行っていく必要がある。 ・近隣大学とより連携を密に、学生アルバイトの雇用をすすめていく他、将来専門職として福祉を目指す学生の育成及び知識の向上につながる情報が得られる機会を今後設けていく。
2	長期休暇期間中のイベントや土曜日、祝日開所での活動プログラムが固定化ししつある。	活動プログラムを考える際、事業所がある商店街を活かした企画などが計画的に実施できていない。また、商店街イベントに放課後等デイサービス利用児がなかなか参加することができていない。	・地域イベントへの参加 ・社会体験や自立に向けたお仕事体験など、商店街の良さを活かしたイベントを計画的に実施する。
3	事業所を安心して通所できるように、職員の適正な人員配置を検討しながら、一人一人の支援に対する質の向上を図っていく。	・行動障害や不登校児に対して、個々の関わり方やニーズについて、法人内の他事業所と共同で勉強会を開催し、支援に携わる職員（準職員含め）が参加することで、知識の向上を図っていく。	・自立支援協議会への参加、他機関との連携。